



天明七年米一揆の件

写本

洋学文庫
文庫 8
A 353



43-7209 (15)



一 天明七年丁未六月廿七日

米相場書上

一 米相場書上

一 牛美濃米

但

四年七合入
百五拾七石五分入

一 同豊前米

同

五年三年六合入
百五拾七石五分入

一 同播磨米

同

四年七合入
百七拾七石五分入

一 同四国米

同

四年四合入
百五拾七石五分入

一 同丹波米

同

四年八合入
百五拾七石五分入

一 同三河米

同

四年四合入
百五拾七石五分入

一市ヶ谷田所をちり下り牛込揚場を越え玉作を院を過ぎ
多摩川を傍に用排町建り至り足利寺なるちり下り
寺一向にゆき名越を過ぎ由水道所より入り所辺に於て
歩法

一市ヶ谷寺より遊所より至り坂本を過ぎ戸崎より中津
戸崎より折立より一乃

一江戸田所を過ぎ出立よりみゆりなる東黒川より多相直山より
上りくらしき味崎より多相直山より

古より難色よりなり

